

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法

次の表では、デバイスの使用方法について説明しています。

目的	操作
ハンドセットを使用する	オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを置きます。
ヘッドセットを使用する	ヘッドセットモードのオン/オフを切り替えるには、  を押します（自動応答を使用している場合は、例外について P. 45 の「ヘッドセットまたはスピーカフォン使用時の自動応答」を参照してください）。 ヘッドセットの使用中は、  や  など、電話機のすべてのコントロールにアクセスできます。 ヘッドセットの購入については、P. 45 の「ヘッドセットの購入」を参照してください。
スピーカフォンを使用する	スピーカフォンモードのオン/オフを切り替えるには、  を押します。 ハンドセットが受け台に置かれていて、  が点灯していないときに電話番号をダイヤル、またはコールに应答すると、通常はスピーカフォンモードが自動的に有効になります。
コール中に（ハンドセットから）ヘッドセットまたはスピーカフォンに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。
コール中に（スピーカフォンまたはヘッドセットから）ハンドセットに切り替える	ボタンは何も押さずに、ハンドセットを取り上げます。

ヒント

- ヘッドセットポートの位置については、P. 7 の「電話機の接続」を参照してください。
- ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンを使用してコールの発信、応答、終了などの処理を行う方法については、P. 21 の「基本的なコール処理」を参照してください。

ヘッドセットの購入

電話機では、電話線が 4 本または 6 本のヘッドセットのジャックがサポートされています。ヘッドセットの購入については、P.9 の「ヘッドセットについて」を参照、または <http://vxicorp.com/cisco> の Web サイトを参照してください。

ヘッドセットまたはスピーカフォン使用時の自動応答

大量の着信コールを受ける場合、または他人のコールを処理する場合は、自動応答を使用すると便利です。システム管理者は、スピーカフォンまたはヘッドセットのいずれかの使用時に自動応答するように設定します。次の表に詳細を示します。

目的	操作
ヘッドセットで自動応答を使用する	<p>通話中以外も、ヘッドセット モードを有効（つまり、 が点灯している状態）にしておきます。ヘッドセット モードを有効にしておくには、 を押してコールを終了するのではなく、[終了] を押して切断し、新しいコールを発信するときに [発信] または [ダイヤル] を押します。</p> <p>電話機がヘッドセット モードで自動応答を使用するように設定されていると、 が点灯している場合に限り、コールが自動的に応答されます。それ以外の場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴り、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>
スピーカフォンで自動応答を使用する	<p>ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセット モードを無効（つまり、 が消灯している状態）にしておきます。</p> <p>電話機がスピーカフォン モードで自動応答を使用するように設定されていると、上記の条件を満たした場合に限り、スピーカフォンを使用してコールが自動的に応答されます。それ以外の場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴り、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>